

平成 30 年 3 月 17 日からの新しいダイヤについて

J R 九州では、これまで列車の増発や新型車両の投入をつづけ、交通ネットワークの充実を図ってまいりました。また、九州各地で地域のみなさまよりご協力をいただきながら、D & S 列車の運行や J R 九州ウォーキングの開催、また駅の利便性など、地域の活性化と鉄道の利用促進に努めてまいりました。

しかしながら、高速道路の延伸により他輸送機関との競争が激化し、人口減少や少子高齢化が進むなど、弊社を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くことが予想されることから、平成 30 年 3 月 17 日に予定しているダイヤ改正において、お客さまのご利用状況を十分に踏まえた上で、列車本数や運転区間等について見直しを行うこととしました。

この見直しにあたっては、前後の列車との時間間隔を調整することにより、お客さまの利便性が低下するようなことがないよう努めてまいりましたが、沿線の自治体さまへご説明を進めていく過程で、沢山のご意見を聞かせていただき、お客さまのご利用状況について、これまでに弊社が把握していなかったものがあることがわかりました。他の公共交通機関がなく、列車の運転をとりやめることにより、就学の継続が困難になるなどのおそれがあるものもありました。このことから、地域のみなさまからいただいているご意見を踏まえ、ダイヤ改正（案）の一部を見直しました。

これからも、日頃からお客さまの声や地域のみなさまからのご意見に耳を傾け、お客さまのご利用状況の把握に努め、時刻の修正や車両の増結、列車の増便や運転区間の延長等を柔軟に実施してまいります。

さらに、安全とサービスを基盤として、駅を中心とした街づくりや、バリアフリー化によるご利用しやすい駅づくりなどを通して、鉄道の利用促進を図るとともに、地域のみなさまと連携して、積極的に地域の活性化に取り組み、ご期待に沿えるよう鋭意努力してまいります。

平成 30 年 2 月 16 日

九州旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 青柳 俊彦